



先週はたくさんの出来事がありました…。

【出来事1】避難訓練

6日(水)に避難訓練を実施しました。火災を想定した訓練ではありましたが、「避難」という言葉にこれまでとは違った響きを感じていた生徒もいたことと思います。常日頃の準備を怠らないこと、常に最悪の事態を想定して対処することなど、今回の水害で学ぶこともあったと思います。



【出来事2】「スポーツこころのプロジェクト」スポーツ笑顔の教室 11/5・6 実施



この事業は、本校では4年連続の開催でした。2年生のみの実施でしたが、各クラスとも2時間を使って、前半は体育館で夢先生と一緒にカラダを動かす「ゲームの時間」、後半は教室で夢先生と夢について語り合う「トークの時間」という構成でした。

今年度の講師(夢先生)は、

- 富平辰文先生 (K-1)
- 川股要佑先生 (サッカー)
- 石井健伍先生 (サッカー)

の3名でした。それぞれの競技において日本のトップに立ち世界を知った選手でも、そこに至るまでの過程においては様々な困難に会い、大きな挫折や絶望感を味わっているとのことでした。

しかし、3人の夢先生たちがそれらの困難に屈することなく、自己実現を図ることができたのは、夢を持ち続けること、その大きな夢を達成するために小さな目標をひとつひとつ達成して積み上げていくこと、初心を忘れないこと、仲間を大切にすること、感謝の気持ちを持ち続けること、そして何よりも自分自身を信じ、自分に負けないことだということが伝わってきました。

【出来事3】「オリ・パラ教室」パラリンピアン講演会 11/7 実施

本校の平成15年度卒業生である半谷静香先生をお招きし、講演会を実施しました。半谷静香先生は、視覚障がい者柔道の日本代表選手で、これまでロンドンとリオデジャネイロの2度のパラリンピックに出場し入賞しています。生まれつき弱視でありながら、友達に気を遣わせないようにしながら健常者と一緒になって柔道に打ち込んだ中学・高校生時代、障がい者柔道に出会った大学時代から現在に至るまでの努力の様子や苦労等をお話してくださいました。その中で「自分の可能性を信じる」「今できることを全力でやる」という言葉は、まさに半谷選手が日々実践し

ていることだからこそ、重みがある、力強いメッセージとして心に響いてきました。

講演後には、本校柔道部員に秘伝の技（半谷スペシャル）を伝授してくださり、部員も感激しておりました。帰る際には、「東京2020では金メダルを獲得し、首に提げてまた来ます。」と力強く述べられました。

全校生、そして地域のみinnで半谷静香選手の活躍を応援しましょう！



2018年ワールドカップで銅メダルを獲得した半谷選手（一番右側）

【出来事4】音楽祭第2部

大雨の影響で全ての内容を消化することができなかった音楽会でしたが、「第2部」として8日（金）に実施しました。

合唱部の発表で第2部の幕が開きました。途中、男声の発表では、「小栗隆士くん」という謎の転校生(?)の飛び入りもありましたが、「さすが合唱部」というすばらしい歌声の連続でした。2年生の皆さん、来年永野美佐子賞を獲りたければ、クラスから1人でも多くの合唱部員を出すことではないでしょうか。

つづいて厳しいオーディションを勝ち抜いた有志による発表でした。特に目をひいたのは、チアリーディング。そのうち応援団に取って代わるのでは……という勢いでした。

最後は、何と言っても吹奏楽部。工夫を凝らし、会場を大いに盛り上げてくれました。怪しい男子中学生や女子中学生の登場に会場はざわつきました。締めはやっぱり「チェリー」でした。

たくさんの保護者の皆様にご来校いただき、本当にありがとうございました。そして、様々な変更にもめげず、立派にその役目を果たしてくれた実行委員の皆さん、そして平一中生、感動をありがとうございました。

